

相生山緑地の道路建設

なごや環境大学のハンドブックによると、市が土地を借地して、樹林地を活かしながら市民の憩いの場として整備し、市民と行政が一緒になって樹林地を育てていく事業が「オアシスの森づくり」である。

現在、相生山緑地・猪高緑地・東山公園・荒池緑地の4箇所が位置づけられ、その第1号が1998年開園の天白区の相生山緑地だ。



猛暑のなか地図を片手に訪ねて

みた。「相生山緑地オアシスの森くらぶ」によって、下刈り、除伐、枝払いなどの森の手入れが行われており、案内も含めよく整備されていた。この緑地はヒメボタルの国内最大規模の群生地とされる。6月20日付朝日新聞夕刊は大きくヒメボタルが乱舞する写真を載せ、ここを横切る道路建設に「ホタルの光 開発か保護か」と問いかけていた。

延長892メートルの都市計画道路「弥富相生山線」は1993年に事業認可され、工事は

すでに東西の両端から約

700メートルまで完成、未

着工の約200メートルを

残すのみとなっている。



初夏になるとホタルの

撮影で全国を歩く写真家

小原玲さんは「都会の近くでこれほど大きな群生地はほかにない」という。未着工部分は緑地の中でも最も多く生息する地帯であり、建設の見直しを求める。来年のCOP10を控え、河村たかし市長も「開発か、環境か」で悩んでいるそうだが、市長の判断が注目される。

(2009年8月31日 記)